

# NIESSING

## ニーシング×写真家・濱田英明「FAMILY OF NIESSING」

写真家・濱田英明による、ニーシングのものづくりを伝える写真展

2014年10月24日(金)ー11月11日(火) 南青山 ニーシング東京にて開催



1873年にドイツで創業されたモダンジュエラーNIESSINGが、注目の写真家 濱田英明氏とコラボレーション。

2014年東京秋のデザインウィーク期間中「ニーシング東京」で特別展示を行います。

ニーシングのジュエリーの魅力は、その研ぎすまされた技術と、ファクトリーで働く人たちの家族のような親密さから生まれます。今回のコラボレーションでは、家族をテーマとする写真で世界的に高く評価されている濱田氏がドイツのニーシング本社を訪れ、フレーデンの街や、ニーシングの工房、そこで働く人々を自由に撮影。撮影した写真を店内に展示すると同時に、来店くださった皆様に、ミニ写真集をプレゼントいたします。また今回の展示に合わせて、お好みの写真や絵をリングのシリンダーにつめて世界にひとつだけのオリジナルリングをオーダーできるNIESSINGのジュエリー「Treasury」を、濱田氏の写真を使用して制作します。「大切な思い出の1ページ」として、古くから愛用されているロケットのように、そっと覗くと見えるトレジャリー＝宝物をお楽しみください。

### 展覧会タイトル：ニーシング×写真家・濱田英明「FAMILY OF NIESSING」

会期： 2014年10月24日(金)～11月11日(火)

ギャラリートーク： 2014年11月1日(土) 19:00～(18:30開場)

ウェブサイトよりお申し込みください。30名様限定。

<http://niessing.jp>

会場： ニーシング東京

港区南青山5-9-10 サンク南青山1F TEL 03-3499-1868

# NIESSING



## ディレクター岡田栄造氏コメント

ニーシングのデザインディレクター、ティモ・クシュラー氏に東京ではじめてお会いしたときに、氏はニーシングについて「家族のような会社」と説明されていました。ニーシングのジュエリーに私が感じていた硬派なイメージとは対照的な「家族」という言葉が意外で、そこから今回の展示のテーマ「FAMILY OF NIESSING」を思いつきました。

ニーシングのジュエリーの魅力は、ものづくりの技術やプロセスを知れば知るほどに増します。ニーシングの研ぎすまされた技術を、ニーシングのファクトリーで働く人たちの家族のような親密さとともに記録して展示したいと考え、写真家の濱田英明さんをお願いして、ニーシングで働く人々やファクトリーの様子、フレーデンの街と自然を撮影してもらうことにしました。

濱田さんとフレーデンを訪れたのは9月末。フレーデンはとても穏やかな小さな街でした。クシュラー氏にファクトリーを案内してもらったのですが、すぐに、「家族」という言葉の意味がわかりました。職人さんたちはほんとうに穏やかに、楽しげに働いていて、私たちが親戚かのように歓迎してくれ、やっている仕事についても丁寧に教えてくれたのです。それは、マネージメントの担当の方々や、オーナー夫妻も同じでした。

濱田さんの写真、本当に素晴らしいです。ニーシングのファクトリーで体験したことやフレーデンの街の空気、人々のおだやかで誠実な人柄をそのまま伝えてくれます。ぜひ会場にお越し下さい。

# NIESSING

## 濱田英明 (はまだひであき)

写真家。1977年兵庫県淡路島生まれ。大阪在住。日本人フォトグラファーとして初めて『KINFOLK』（アメリカ）の表紙写真を飾り、『THEBIG ISSUE TAIWAN』（台湾）、『FRAME』（オランダ）などの海外雑誌ほか、国内でも雑誌、広告など幅広く活動している。現在、国内初の写真集『ハルとミナ』が発売中。



## NIESSING (ニーシング)

1873年ドイツ、ヘルマン・ニーシングが創設したジュエリーのワークショップからニーシングの歴史は始まりました。ドイツの造形学校「バウハウス」の流れを汲む作風は究極のシンプルを追求。地金の張力だけでダイヤモンドを支える代表作品「ザ・ニーシングリング」（写真左）は、1979年に開発され特許を取得。独自のスタイルは当時のジュエリー界に一大センセーションを巻き起こしました。ニーシングの卓越したクオリティと職人的技術は、数々のデザイン賞を受賞していることでも裏付けられています。無駄な装飾を一切削ぎ落とし、「ザ・ニーシングリング」は発表より30年たった現在でも見る人を驚嘆させるそのデザイン性でニーシング＝モダンジュエリーの地位を揺るぎないものにしました。2001年には、芸術品としてドイツで法的に認定され盗作・贋作から保護されており、現在でも世界の美術館で、ジュエリーコレクションとしてニーシングリングが収蔵されています。

<http://niessing.jp>



## Treasury (トレジャリー)

ニーシングではあなたのお好みの写真や絵をリングのシリンダーに閉じ込めて、そっと覗くと見える、世界にひとつだけのオリジナルリングをお作りいたします。「二人の愛の証」「離れ離れの二人を繋ぐお守り」「大切な思い出の1ページ」として……。古くから愛用されてきたロケットのように大切にしている秘密を肌身離さず持っていただけるのです。

素材：K18 価格：¥450,000



## プレスに関するお問い合わせ

・株式会社 柏圭 (カシケイ) 猪俣有希 [inomata@kashikey.co.jp](mailto:inomata@kashikey.co.jp) Tel:03-3575-8859  
・HOW INC 小池美紀 [miki@how-pr.co.jp](mailto:miki@how-pr.co.jp), Tel:03-5414-6405,Fax:03-5414-6406

## 読者お問い合わせ先(クレジット記載)

ニーシング東京 住所：東京都港区南青山5-9-10 サンク青山1F TEL：03-3499-1868  
<http://niessing.jp>

# NIESSING

宙に浮いたダイヤモンド  
究極のシンプルを追求する、ドイツのモダンジュエラーNIESSING〈ニーシング〉



## »Philosophy for Design

ニーシングのジュエリーはひと目でわかります。ドイツの造形学校「バウハウス」の流れを汲む作風は究極のシンプルを追求。どの作品もシンプルなアイデアを表現しており、それが研ぎ澄まされた美しさの源になっています。それぞれのジュエリーが語りかける、それぞれのストーリー。身につける人は、それにより自己表現することができるのです。

ニーシングはこの「雄弁な美」、コミュニケーション性こそが時代の求めるデザインと考えています。そしてニーシングのジュエリーは、140年の歴史の中で培われたクラフトマンシップ、ジュエリー職人たちの熟練した技術によって支えられています。

## »Hitsotry

1873年ドイツ西部、国境近くの美しい中世の都市、フレーデンにヘルマン・ニーシングが創設したジュエリーのワークショップからニーシングの歴史は始まりました。創業141年。ニーシング本社とファクトリー、隣り合う「ホワイトハウス」と呼ばれるデザイン室は三位一体となり、ジュエリーを次々に生みだしています。長い歴史の中で、ニーシングが伝統的ジュエラーからコンテンポラリージュエラーに転換したのは1970年代。1979年のThe Niessing Ringの完成を待ち、ニーシングは新世紀へ移行しました。四半世紀を経た現在もそのデザイン哲学は継承され、マイスター達の卓越した技術力に支えられながら、革新的ジュエリーを創作し続けています。

# NIESSING

## »The Niessing Ring

まるでダイヤモンドが浮遊しているかのようなデザイン。宝石を留める爪がないため、あらゆる角度から光を集め、ダイヤモンド本来の美しさを最大限に引き出すことに成功した画期的なリング。

1979年に開発され、後に特許を取得した「ザ・ニーシングリング」誕生の背景には、ある一人の女性の存在がありました。創業者の孫娘、ウズラー・エクスナー（中央写真の女性）。文化や芸術に造詣が深く、既成概念にとらわれない自由な発想を持つ彼女は、ドイツの造形学校「バウハウス」の哲学に深く共感。リングに不可欠なアームと石の二つだけを残し、石を留める醜い爪をデザインから消失させることを考えました。要請を受けたデザイナー、ウォルター・ウィテック（右写真の男性）と職人達がウズラーの発想を形にできたのは、実に2年後のこと。「物事を純粹に、さらに明確に捉えるため、本当に必要なものだけを残す」バウハウスの理念を体現したジュエリーが完成しました。地金の張力のみで宝石を完璧に支える画期的な発明は、世界に大きな衝撃を与えたのです。

ダイヤモンドがあらゆる角度から光を集め、本来の美しさを最大限に発揮するこの独自のセッティング方法はニーシングが開発した背景が明確に分かるように「ニーシングセッティング」と呼ばれ、現在も見入る人を驚嘆させるデザインと人間工学に基づく素晴らしい着け心地でロングセラーを続けています。美術品としてもその価値を高め続ける「ザ・ニーシングリング」。ニーシング=モダンジュエリーの地位を揺るぎないものにしています。



- 1979年 ウォルター・ウィテックがニーシングリングを発明する
- 1993年 ライプツィヒ・グラシ博物館にコレクション展示される
- 1994年 国立工芸美術館（ノルウェー・オスロ）にコレクション展示される
- 1999年 ブッセ・ロングライフデザイン最優秀賞受賞
- 1999年 科学博物館（オーストリア・ウィーン）にコレクション展示される
- 2000年 芸術品として認められウォルター・ウィテックのオリジナル作品として著作権を得る
- 2003年 美術工芸博物館（ハンブルグ）にコレクション展示される

# NIESSING

## ≫Factory

ニーシングのほとんど全てのジュエリーは、ニーシング本社で制作されています。地金の精錬から最終工程の仕上げまで自社ファクトリー内で行う、世界でも数少ない機能を持ったファクトリーのひとつです。ひとつのジュエリーが完成するためには、熟練したスペシャリスト達の手から手へと渡る多くのプロセスが必要です。デザイナー達の自由な感性を形にするために、ジュエリー職人達は時として未開の技術領域にチャレンジすることも躊躇しません。ほとんどのジュエリー職人はニーシングに永年従事し、長い経験の中で培われたその専門的技術や知識を後輩へと受け継いでゆきます。こうして技術はより磨かれ、専門的知識はさらに高められてゆくのです。

## ≫Forging Process

ニーシングでは地金のバーを、何度もプレス機にかけて圧縮します。この圧縮により貴金属の密度を高め、強度のある地金を作り出します。この工程を鍛造と呼びます。こうして作られたリングは耐久性に優れ、ゆがみにくく、永年のご使用にふさわしいものになります。鍛造製法は量産には向きません。ニーシングのリングは、お客様のオーダーを受けてから、1つ1つ手作りで製作されます。

## ≫Material, Color

ニーシングのジュエリーメーカーとしての地金に関する知識の豊富さは他に類をみないほどで、製品に使用されるほとんどすべての素材を自社ファクトリーで製造しています。専属の職人が生み出すこだわりの技法がジュエリーに彩りを与えてくれます。



# NIESSING

## ≫商品構成

ニーシングのジュエリーは代表作品「ザ・ニーシングリング」とシンプルで研ぎ澄まされたデザインの「ウェディングリング」、自由な発想から生まれる、ネックレスを中心とした「ジュエリーライン」とコンテンポラリーなデザインをリーズナブルな価格で楽しめる「スティーリングライン」から構成されています。



### お客様お問い合わせ先：

Niessing Tokyo[ニーシング東京]

東京都港区南青山5-9-10サンク青山1階

Tel：03-3499-1868

<http://www.niessing.jp>

商品・画像データのお貸出等、お問い合わせは下記までご連絡ください。

株式会社柏圭（カシケイ）

東京都港区新橋2-19-3

NEWSプロジェクト プレス猪俣

Tel：03-3575-8859 Fax：03-3575-8849 [inomata@kashikey.co.jp](mailto:inomata@kashikey.co.jp)